

大槌町立吉里吉里中学校

2015年 1月 5日

大西 歩実(香川大学大学院教育学研究科)
北林 雅洋(香川大学教育学部)

【文献】

- (1) 「教育長のページ 定例校長会」磐田市教育委員会HP(2011年7月11日)
※ 岩手県大槌町への支援金募金のお礼と現地の様子についての記述より
<http://www.city.iwata.shizuoka.jp/kyoiku/outline/superintendent/h23/230711ej.html>

【場所】

船越湾から約600m、大槌湾から約1kmの位置にある。
住所:岩手県上閉伊郡大槌町吉里吉里1-215



【東日本大震災による被害】

津波による浸水はなかったが、学校の敷地ぎりぎりまで津波が到達した。

【震災当日の様子】

学校は高台にあったが、津波前の引き波のすごさに驚き、更に高いところへと、生徒を山の上に登らせた。学校では一人の犠牲者も出なかった。しかし、保護者が迎えに来て、学校に残るよう強く求めたが、連れて行った生徒3人は行方不明となってしまった。

【調査して言えること】

学校の標高は約19mの高台にあった。船越湾まで約600m離れているが、海から学校まで山などの遮る地形がないため、地震の際に津波を警戒する必要のある場所である。また、学校は高台にあるため見晴らしがよく、海がよく見える。

学校の北側のフェンスに津波が到達した痕跡が残っており、学校の校舎のすぐ近くまで津波が到達したことが分かった。また、学校の南側は山になっており、学校横の道路が山まで続いていて標高の高い場所に避難することができる。学校自体も高台にあり、さらにすぐに山に逃げることができるため、学校外への避難のしやすい学校である。



学校北側のフェンス
(2014/3/19撮影)

※ 津波によってゆがんでいる。



北から見た学校と道路
(2014/3/19撮影)